

令和4年度三重県・尾鷲市・紀北町・大紀町・南伊勢町総合防災訓練

1. 訓練の目的

南海トラフ地震発生により特に甚大な被害が生じるおそれのある尾鷲市、紀北町、大紀町、南伊勢町において、国、県、市町、関係機関等がこれまで以上に連携した 災害対策活動を中心に、より実践的な対応力向上を図ることを目的に実施します。

2. 訓練概要

(1) **実施日時**：令和4年10月23日（日）9時00分から12時00分

(2) **訓練会場**：メイン会場 尾鷲三田火力発電跡地
サブ会場 尾鷲港、紀勢自動車道紀北PA、紀北町立赤羽中学校、山岳救助訓練施設（大紀町）、南島体育センター、県広域防災拠点（東紀州〔紀北・紀南〕拠点）等

(3) **訓練参加者（団体）**：

○主催 三重県、尾鷲市、紀北町、大紀町、南伊勢町

○関係機関 56団体(陸上自衛隊第33普通科連隊、尾鷲海上保安部等救助機関及びライフライン機関 等)

(4) **想定**：南海トラフ地震（被害状況や設定時刻は各訓練項目によって異なる）

令和4年度三重県・尾鷲市・紀北町・大紀町・南伊勢町総合防災訓練

3. 訓練の特徴

(1) 関係機関との連携訓練

① 実際の災害現場を想定した救助機関による救助活動【新規】

自衛隊、海上保安庁、警察、消防等、複数の機関が連携して、現地で役割分担を確実に
行い、模擬家屋等から人命を守るための
救助活動を行う。

- ・ 尾鷲三田火力跡地
- ・ 尾鷲港



② 港湾施設を活用した物資輸送【拡大】

海上自衛隊、海上保安庁の船艇により、
海上からの物資輸送を行い、避難所まで
輸送の手順を確認する。

- ・ 尾鷲港
- ・ 県広域防災拠点（紀北拠点）



令和4年度三重県・尾鷲市・紀北町・大紀町・南伊勢町総合防災訓練

3. 訓練の特徴

(2) 個別課題に関する訓練

① 夜間でのヘリによる要救助者搬送【新規】

ヘリポートにおける夜間灯火設備設置等を行い、警察、自衛隊のヘリを円滑に受け入れ、夜間の要救助者搬送を行う。

・山岳救助訓練施設（大紀町内）

② 災害対策本部機能の確保【新規】

市町村庁舎が被災し、災害対策本部を設置することができない場合に、代替の場所で災害対策本部の設置を行う。

・紀勢自動車道紀北PA

③ 遺体安置所の設置、運営【新規】

遺体安置所を設置し、遺体の受け入れ、火葬に向けた一連の手順、行政及び関係機関が担う役割を確認する。

・南島体育センター（南伊勢町内）

